

平成 26 年度事業報告

○平成 26 年度の主な活動

1、公益社団法人への移行手続きについて

当協会は、平成 6 年 2 月に環境保護の市民団体として高知市で設立（平成 9 年 4 月に社団法人認可）され、平成 17 年 7 月に「生態系トラスト協会」に名称変更された。そして、公益法人法の改正に伴い、主務官庁である高知県環境共生課と協議を行った結果、平成 25 年 4 月 1 日付で公益社団法人に認可された。公益社団法人認定後 1 期目の事業報告となる。

2、ナショナル・トラスト手法による土地の取得について

当協会は、平成 12 年 8 月に吉野川源流生態系保護区を取得したのをきっかけに、四国の森林を中心に野生生物の生息地を保護区として取得してきた。平成 14 年から四万十町などで取得してきた「四万十ヤイロチョウの森」トラストでは、1 月に四万十町戸川に新たに約 7 ヘクタールのヤイロチョウが生息した実績のある森を取得した。その結果、四万十ヤイロチョウの森は、平成 26 年度末までに約 190 ヘクタール（トラスト地全体で 279 ヘクタール）に拡大した。

3、委託事業について

平成 26 年度は、前年に続いて高知県鳥獣対策課より、野鳥とのふれあい事業を受託して、高知県内の愛鳥モデル校への講師の派遣や巣箱提供、愛鳥コンクールポスター募集業務などを行った。

また、新エネルギー対策課より、国の緊急雇用補助金に基づいて、平成 26 年 3 月 1 日～平成 27 年 2 月 28 日までのネイチャーセンターの職員 3 名分の業務委託契約を受けて、3 月中に 3 名を雇用して、ネイチャーセンターの安定的な運営に資することができた。

4、助成金事業について

地球環境基金の 3 年目、イオン環境財団の助成金をいただいて、下記の事業を行った。

地球環境基金助成金では、四万十川流域の生物多様性の調査&情報収集やエコツアーガイド養成講座を行った他、四万十町の生物多様性の町づくり検討会を 12 月に実施した他、テンヤトビなどの剥製も作製し、ネイチャーセンターに展示した。

また、3 年間の報告書を作成し、ネイチャーセンターに生物多様性のパネルを展示したほか、A48 ページのカラーパンフレット 1000 部を作成した。

イオン助成金では、タイのアリムさん、台湾の林瑞興さんをネイチャーセンターにお招きして講演会を行った他、12 月にはアジアの留学生を招いてワークショップを行った。

年賀寄附金配分事業で、ヤイロチョウ保護区の森にウェブカメラを設置し、ネイチャーセンターからライブ映像で観察できるようにした。

5、ネイチャーセンターの運営について

平成 22 年度から検討してきた四万十ヤイロチョウの森・ネイチャーセンターについては、7 月 6 日に高知県知事や四万十町長をお招きしてオープニングイベントを開催し、運営が始まった。

運営に当たっては、27 年 2 月末まで国の緊急補助事業による 3 名分の全額雇用補助事業を活用した。

6、生きものふれあい鶴田公園の運営について

平成 20 年 5 月に篤志家から寄贈をいただき、21 年 2 月 7 日にオープンした「いきものふれあい鶴田公園」では、季節の変化にあわせて自然観察会や地域の伝統行事を行った。

○その他の活動

1) 出版等

- ①生態系トラスト協会の理念や思想を普及するため、「森のしずく」110～113 号を発行した。
- ②中西悟堂協会の事務局として、会報誌『野鳥居』7 号を発行した。
- ③日本めだかトラスト協会の事務局として、『日本めだか年鑑 2014 年版』を発行した。
- ④地球環境基金の助成金をいただいて加除式のポケット図鑑を 300 部追加で作成した。

2) 人材育成

- ①平成 26 年度地球環境基金などの助成金を得て「エコツアーガイド養成講座」を実施した。

3) インターネットの活用

- ① ホームページやブログなどを充実して、協会の活動の普及宣伝に取り組んだ。
- ② 四国ツル・コウノトリ保護ネットワーク事務局として、高知県や徳島県に飛来したナベヅルやコウノトリなどの情報交流等を行った。

4) 講師の派遣など

- ① 学校や行政等からの委託を受けて、生態系保護にかかわる講師を派遣した。
(高知北高校、西土佐中学校、田野々小学校など)

5) 調査研究など

- ①地球環境基金の助成金を受けて四万十町などで生物多様性調査を行った。

6) 他団体の活動支援など

- ①中西悟堂協会の事務局として、会報誌『野鳥居 7 号』を発行した。
- ②日本めだかトラスト協会の事務局として、「日本めだか年鑑 2014 年版」を発行した他、「第 14 回全国めだかシンポジウム in 越前」の開催をサポートした。
- ③「四国ツル・コウノトリ保護ネットワーク」の事務局として、西日本で越冬するツル類の生息地保全に関する情報提供を行った。

7) 組織

- ①ネイチャーセンター友の会を制度をつくり、地域の会員を発掘する目的で一定の成果を得た。

8) 東日本大震災・原発事故の対策

- ①福島県の子供たちを 8 月と 12 月にネイチャーセンターで受入れた。